

風の子虎の子 —中新田子ども火防祭と建築遺産 寅やの再生—

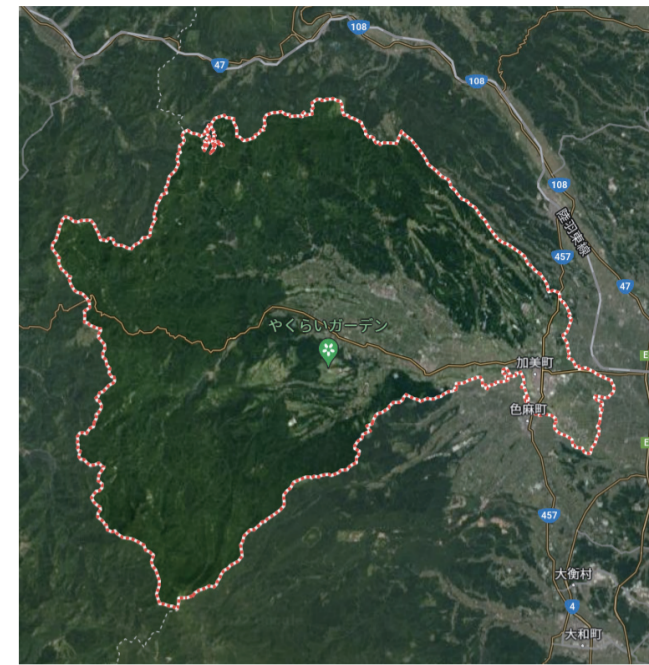


虎舞の将来を担う地元の子どもたちが主体となる「子ども火防祭」を想定し、その主要舞台「寅や」の小規模なりノベーションを提案する。2021年度より工藝藍學舎の移転に伴い、地方建築の持続性と保存活用手法について考察し、中新田の伝統文化に触れ、地域文化を伝承する姿を目指す。

宮城県加美郡加美町中新田

加美町は、宮城県の北西部に位置している。中新田は、代官所が置かれた加美郡の中心地で、南北の羽後街道（現国道 457 号線）、東西の中羽前街道（現国道 347 号線）が交差する交通の要衝として宿場町の機能も備えていた。平成の大合併により、平成 15 年（2003）に、『加美町』となった。また有数の穀倉地帯であったため、江戸への水運拠点として繁栄していた。人や物資に集まるという宿場町・商業街としての特性に加え、米所で酒造が盛んな地域であり、今なお残っている立派な酒蔵から当時の名残を伺い知ることができる。

作品名	風の子虎の子	作品番号	1/5
校名	東北工業大学		
氏名	黒井唯花		



「火伏せの虎舞」と防火啓発による地域づくり

加美町は鳴瀬川や奥羽山脈など自然に囲まれ、奥羽山脈からの強風が吹き付ける地域でもあり、中世から現在に至るまで数回の大火に見舞われた。約 650 年前、中新田の城主斯波家兼が、住民を火難から守ろうと「雲は龍にしたがい、風は虎にしたがい」の故事にならって、稲荷神社の初午祭に虎舞を奉納し、「虎の威をかりて風をしずめ」、火伏せを祈願した。これが「火伏せの虎舞」の始まりといわれている。

また、後には領主がこの祭礼行事を経済対策として活用し、城下の繁栄策として火消組に山車と虎舞を練り歩かせることで、商売繁盛と風化火難防止の意識啓発を行った。

明治 35 年に町は再度大火に見舞われ、城下 473 戸のうち 6 割が消失するという甚大な被害を受け、この大火によって祭礼道具のほとんどは焼失し、虎舞の行事も久しく中止されることとなったが、祭りに対する町民の思い入れは強く、昭和 2 年に復活し、昭和 49 年に県の無形文化財に指定された。

毎年 4 月 29 日に 100 頭あまりの虎が 3 組に分かれて町を練り歩き、家の玄関先や庭、屋根上で舞う。



そうたのたからもの 中村博 作

中新田の「火伏せの虎舞」
 わたしたちが住む中新田町（平成 15 年 4 月 1 日より加美町と町名変更）は、西方には奥羽山脈がちなっています。西に高き山が、早春から初夏にかけて、西北の強風がふきあられ、むかしから大火事になることがしばしばでした。「火伏せの虎舞」についての文獻は、明治 35 年の大火で焼失してしまい、正確な起源を知ることができません。しかし、650 年ほど前、中新田の城主斯波家兼公が、住民を火難から守ろうと、「雲は龍にしたがい、風は虎にしたがい」の故事にならって、稲荷神社の初午祭に虎舞を奉納し、「虎の威をかりて風をしずめ」、火伏せを祈願しました。これが「火伏せの虎舞」の始まりといわれています。
 春選いみちのく中新田では、4 月の声とともに「火伏せの虎舞」のお囃子の笛や、

中新田の「火伏せの虎舞」

加美町図書館蔵書 二瓶瑠璃子

虎舞舞台



A 佐々木胃腸科



B 寅や



C 中勇酒造店



D 中新田図書館

町並み遺産



E 花楽小路



F 山和酒造店 (横通路)

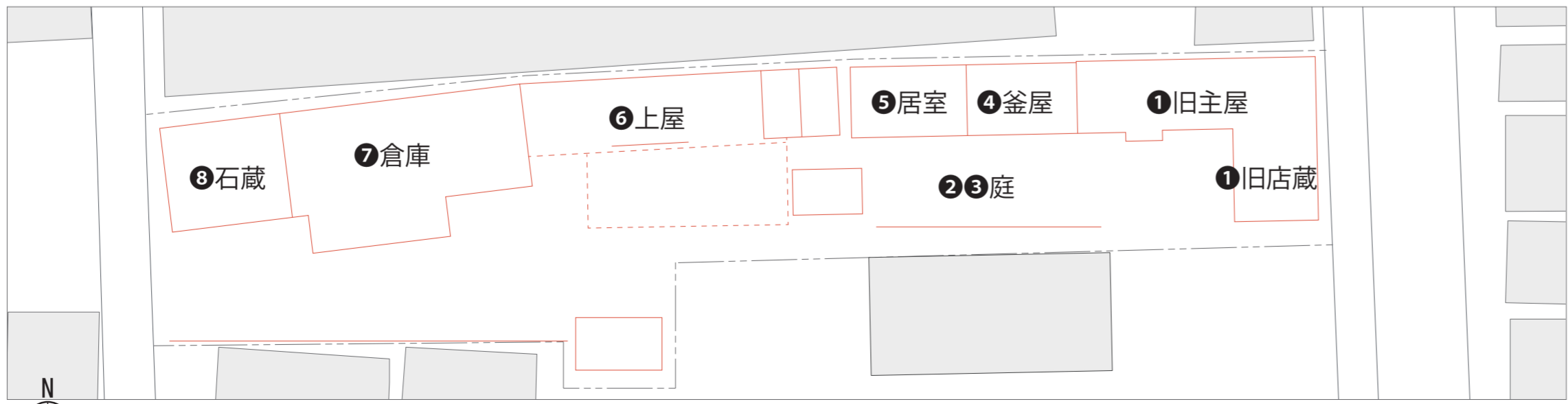
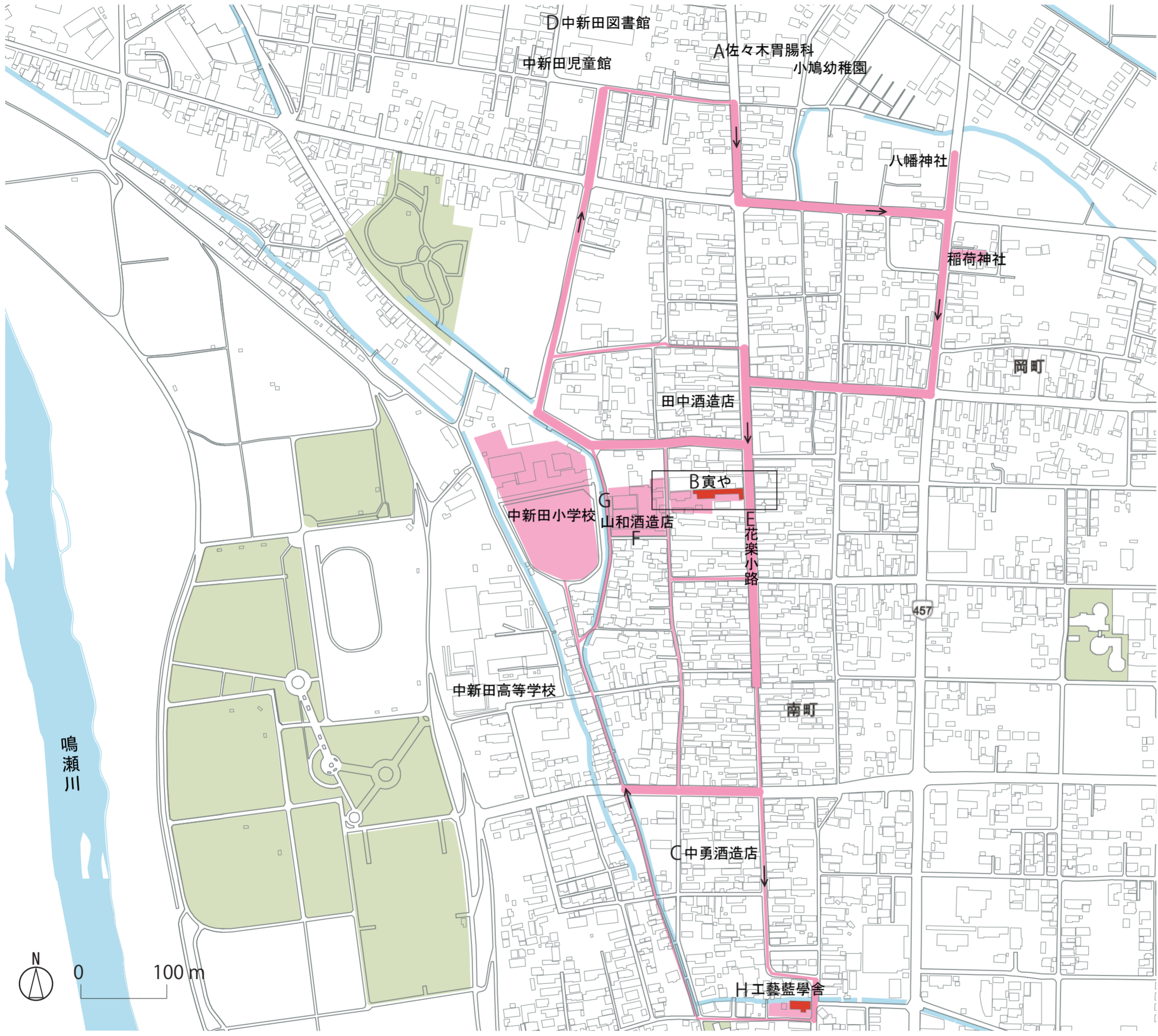
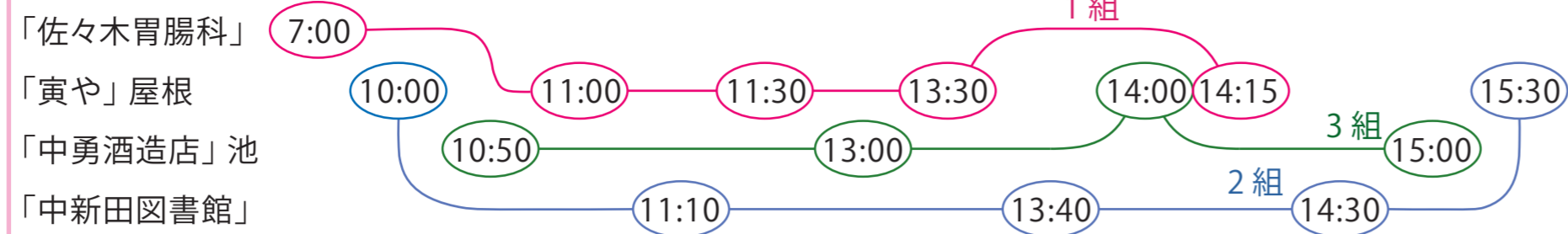


G 山和酒造店 (裏通路)



H 工芸藍學會

演舞予定表



寅や配置図

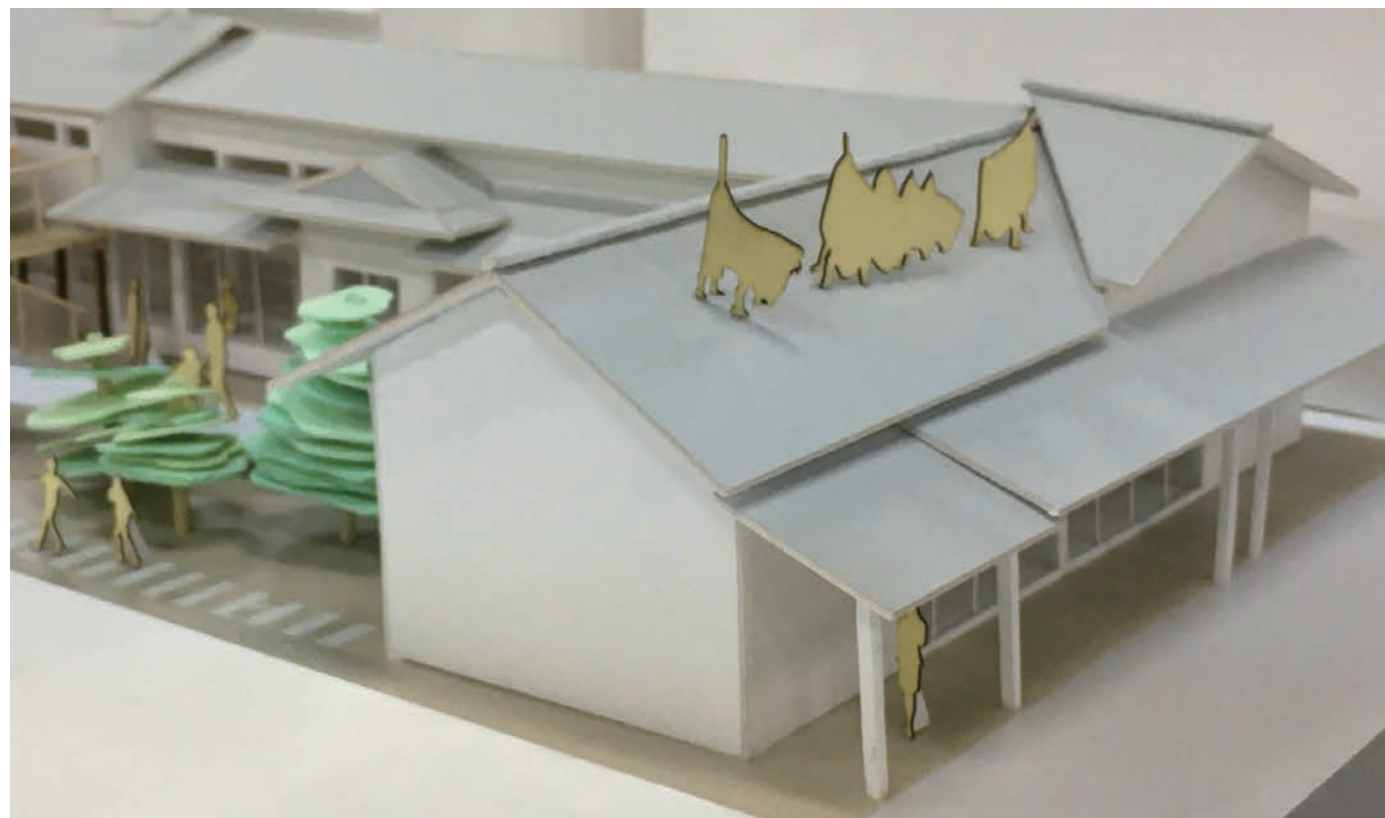
Before

メインストリートの花楽小路には電柱がなく、石畳の道路が続く、美しい町並みが広がっている。花楽小路に面し、虎舞の主要舞台となっている「寅や」に着目する。「寅や」は山和酒造店が所有。

- 1 旧店蔵 保存**
虎舞の舞台となっている屋根瓦屋根と漆喰の壁が美しい
- 1 旧主屋 保存**
畳に触れる体験
集会所としてそろばんや書道教室として利用されている
- 2 3 庭 新築**
遊び場として活かせるような広い空間
- 4 釜屋 改築**
屋根が壊れており物置になっている煙出しの檜が魅力的
伝統を継承する
- 5 居室 減築**
屋根が壊れている
使われている様子がない
採光・通風のために減築する
- 6 上屋 改築**
小屋組が見える屋根付きの広い空間
遊び場として活かす
- 7 倉庫 改築**
トタンが錆びている
外壁・屋根を改修したい
- 8 石蔵 保存**
外観だけでも魅力的

作品名	風の子虎の子	作品番号	2/5
校名	東北工業大学		
氏名	黒井唯花		





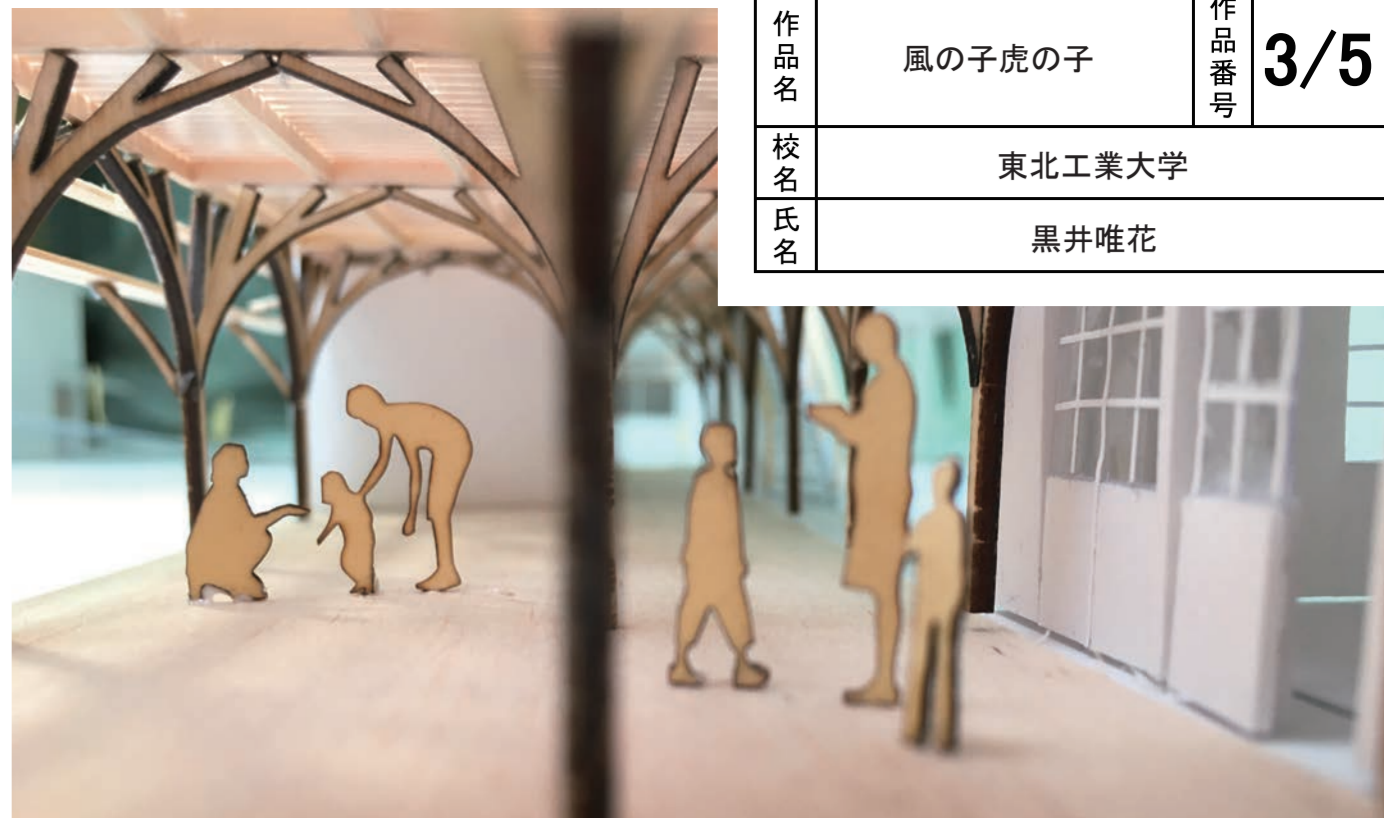
① 寅や店蔵と旧主屋 保存

このまま保存し、現在と同じように集会所として使用する。



② ソラニワ 新築

虎舞が行われる屋根と同じ瓦屋根に上の体験をする。屋根からまちを眺める。



③ トラニワ 新築

デッキの隙間から光と風が抜ける遊び場。ソラニワから創作ラボでつくった染物を垂らして乾かす場所にもなる。



散歩道 新築

学校と花楽小路をつなぐ近道。雨に濡れることなく敷地内を移動できる。

After

常に寅やを開放し、寅やでの思い出をたくさんつくってもらおう
町全体で子どもたちを見守り、歴史ある建物の中で、子どもたちに手を動かし、体験をしてもらう
地域文化に幼い頃から触れることによって、町に誇りを持ち、愛着がわき、文化伝承に繋げていく



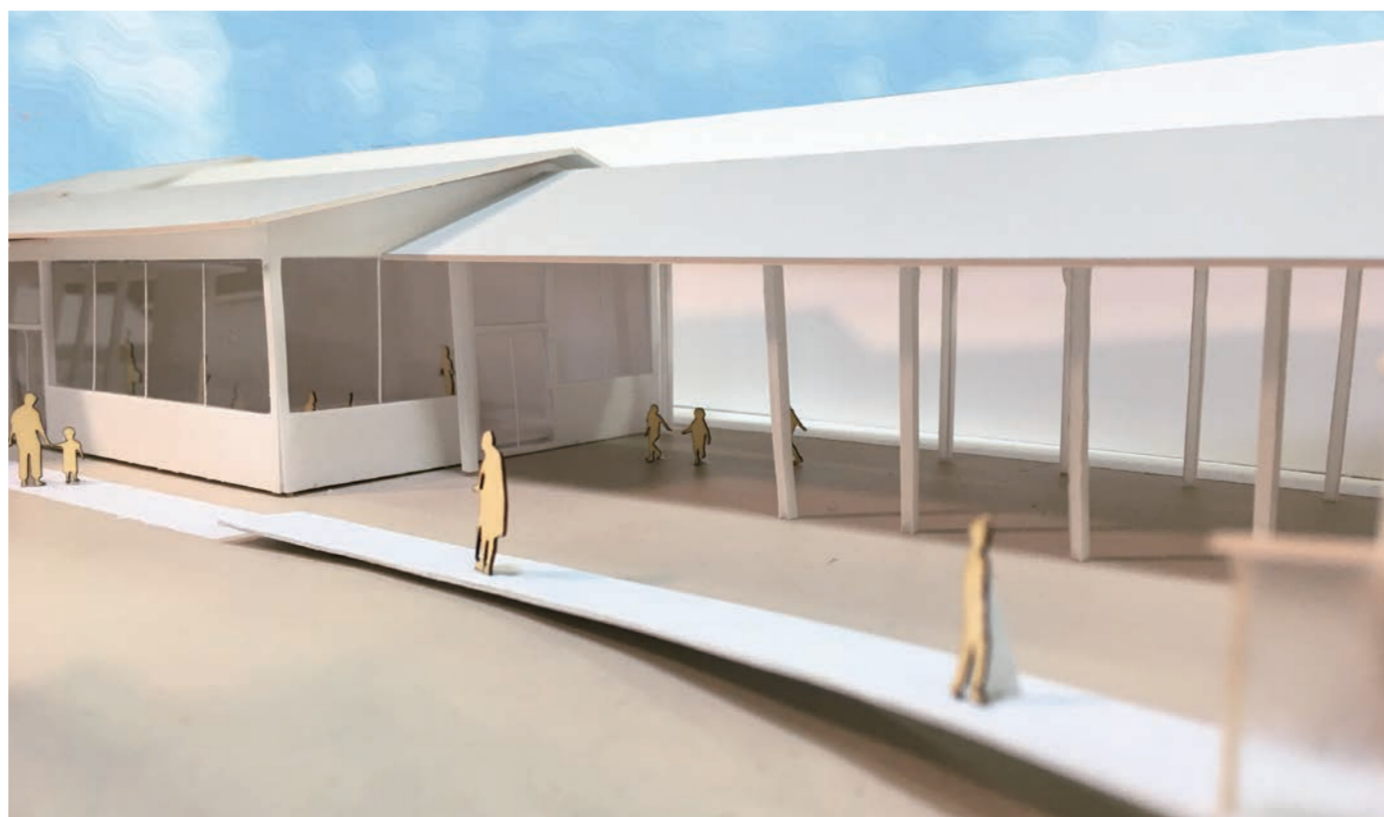
④ 創作ラボ 改築

まちのクリエイターがものづくり教室を開く。トラニワをラボの延長としても利用する。



⑦ コワーキングホール 改築

箱のようなミーティングスペースとトイレを設けた。子どもとワーカー、地域の方々との交流の場となる。



⑥ カゼニワ 改築

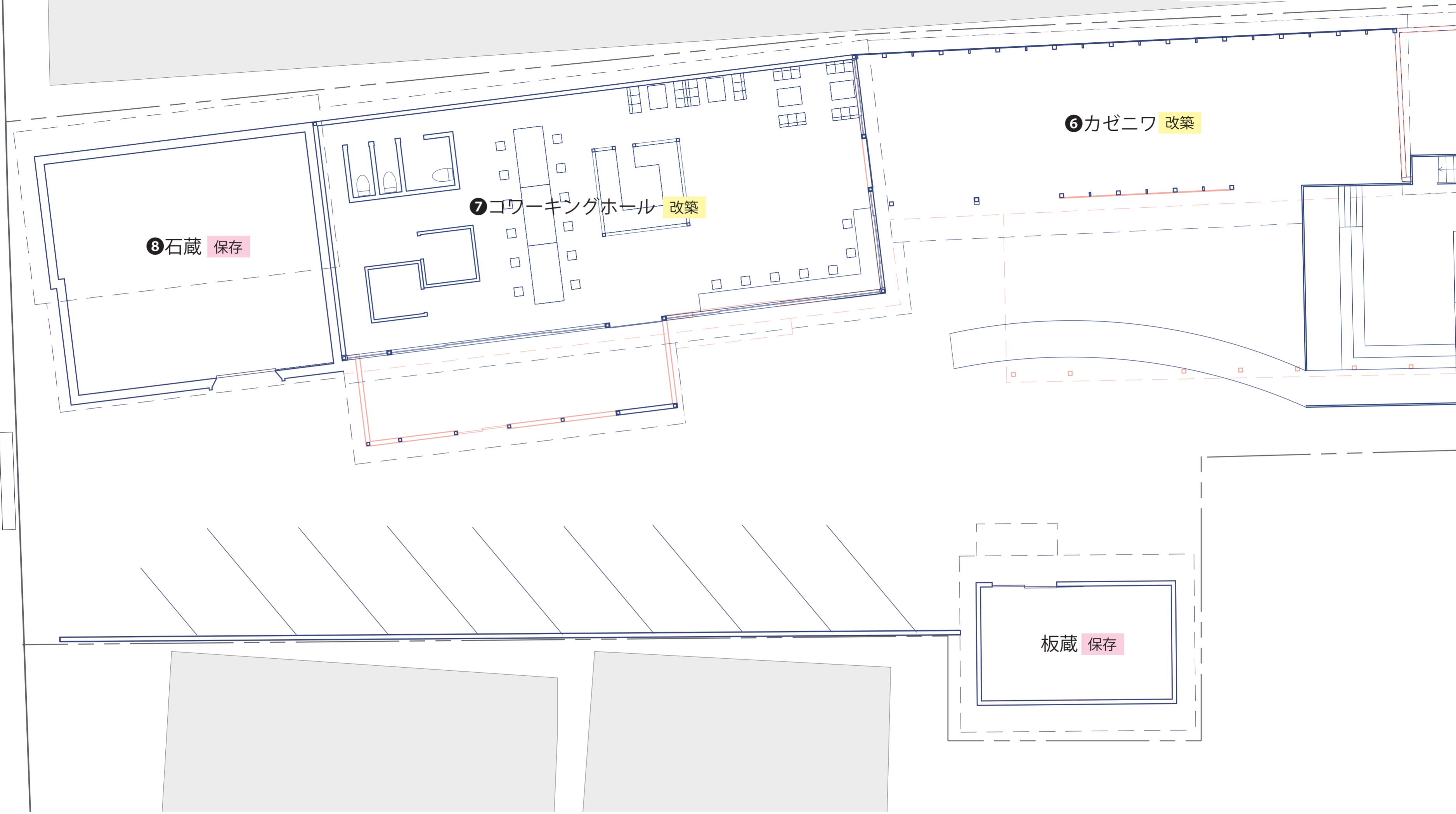
風が抜ける広い屋根付き空間で雨の日でものびのびと遊ぶことができる。



⑤ ナカニワ 減築

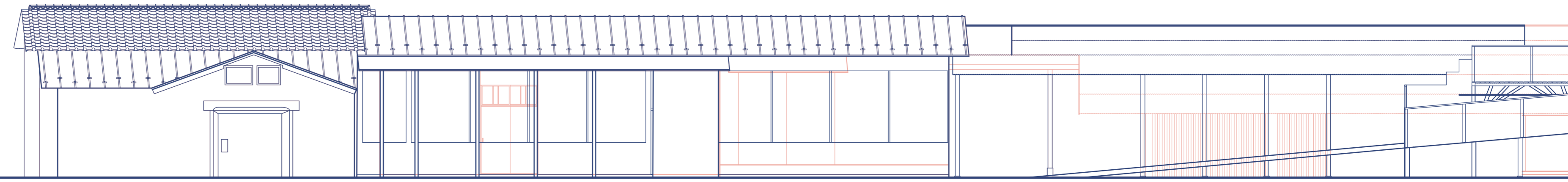
既存棟を一部減築して採光・通風のためのナカニワをつくる。

作品名	風の子虎の子	作品番号	4/5
校名	東北工業大学		
氏名	黒井唯花		

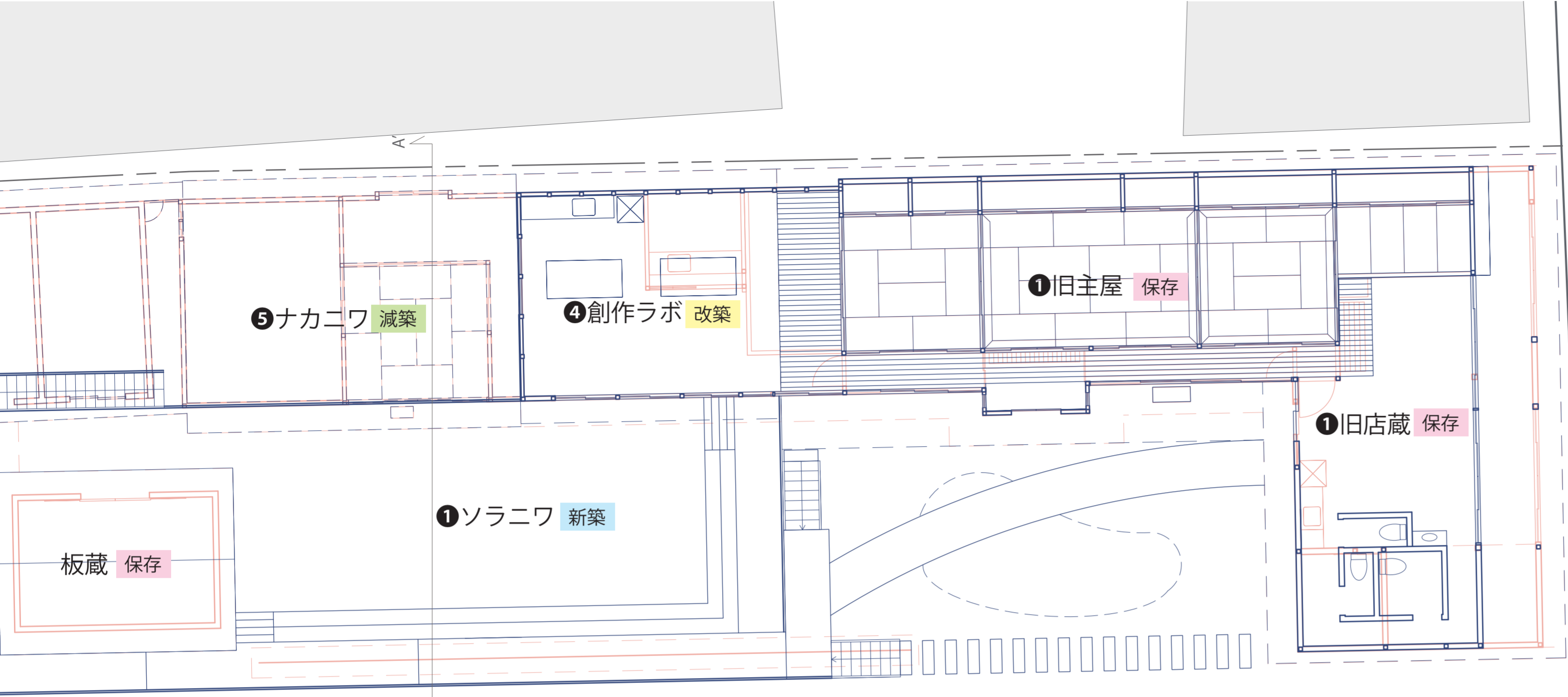


山和酒造

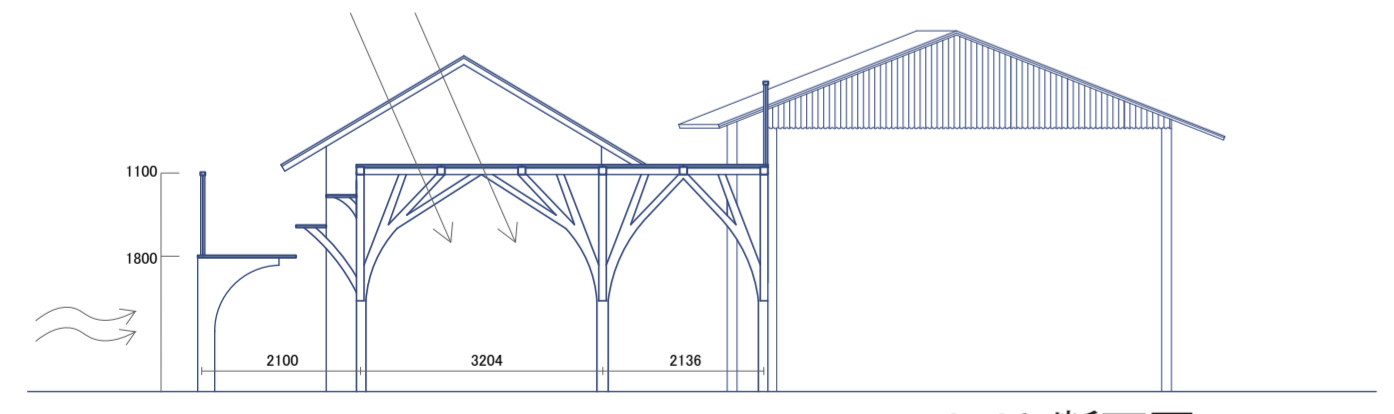
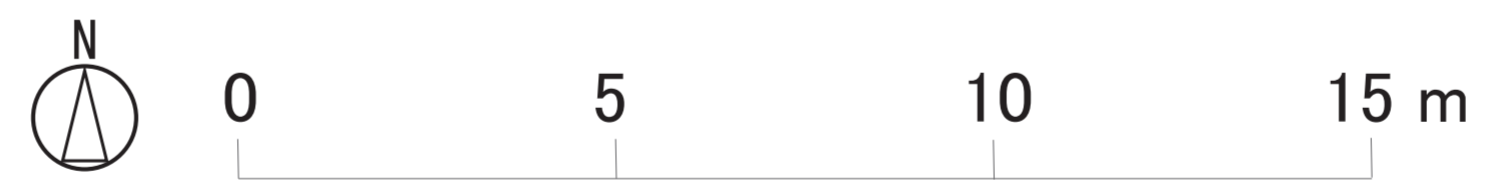
(道路)



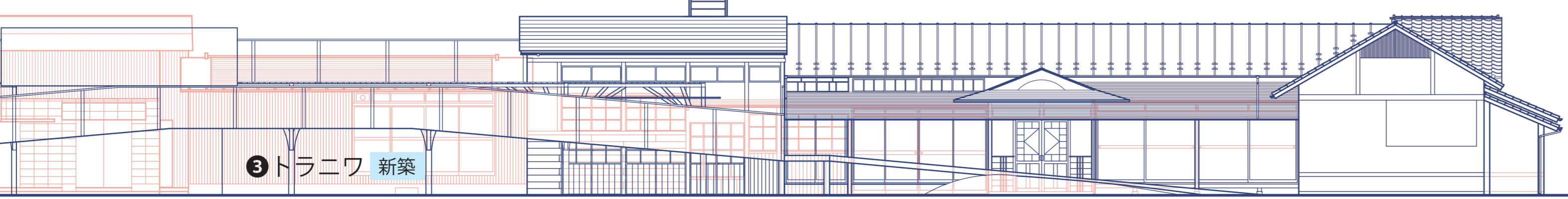
作品名	風の子虎の子	作品番号	5/5
校名	東北工業大学		
氏名	黒井唯花		



配置図兼 1,2 階平面図



A-A' 断面図



(花楽小路)

立面図